



2025年3月期 第1四半期 決算説明会
FISCAL YEAR MARCH 2025 FIRST QUARTER FINANCIAL RESULTS



MAZDA CX-70

2024年8月7日
マツダ株式会社

本日の説明内容

- 2025年3月期 第1四半期 実績
- 2025年3月期 通期見通し
- まとめ

2025年3月期 第1四半期 実績

2025年3月期 第1四半期 実績

- **グローバル販売台数は前年同水準の30万9千台**
 - 北米市場では第1四半期として過去最高の販売台数を達成*
 - 主要市場で競争環境の変化に機動的に対応、販売促進策を強化し販売は計画通り進捗
- **連結売上高は対前年11%増の1兆2,056億円。第1四半期として過去最高**
- **営業利益は対前年68%増の504億円**
 - 販売奨励金の増加影響を円安効果でオフセット、対前年で増収増益を達成
 - 型式指定申請事案による財務影響は軽微。再発防止徹底と信頼回復に努める

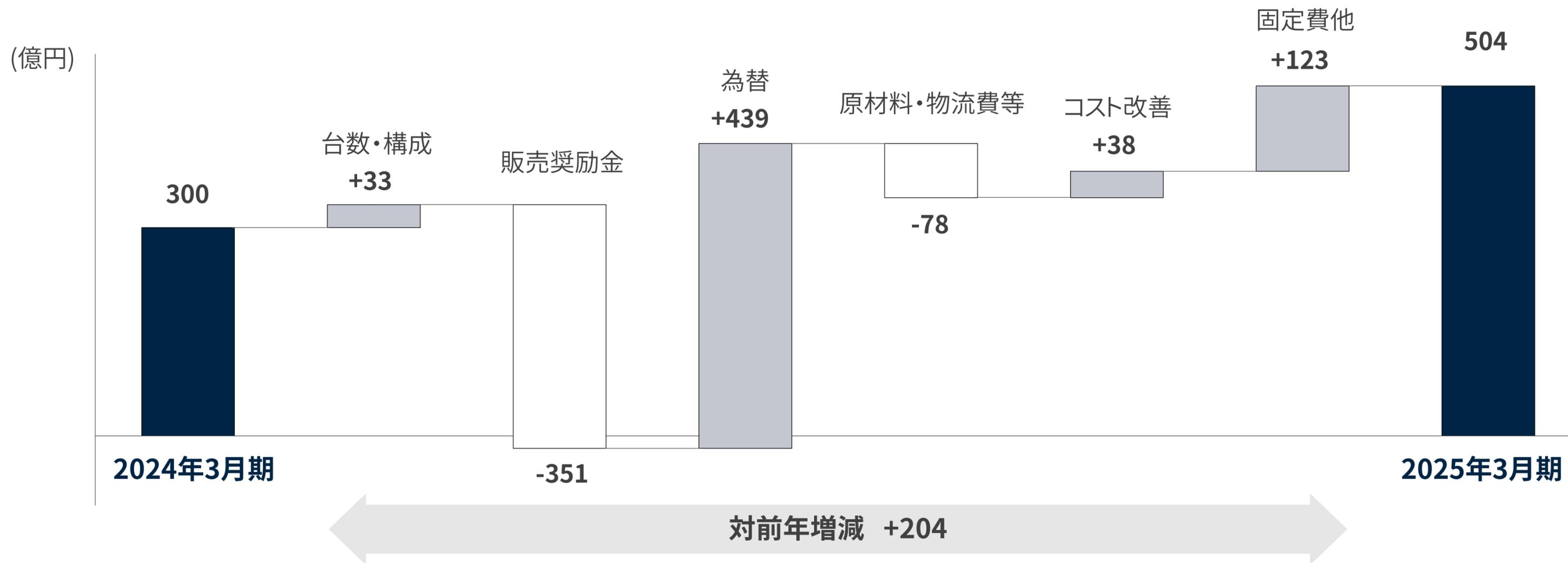
2025年3月期 第1四半期 台数実績

(千台)	2024年3月期	2025年3月期	対前年増減	
	第1四半期	第1四半期	第1四半期	
生産台数※	284	300	+17	+6%
グローバル販売台数				
日本	42	29	-13	-31%
北米	128	146	+18	+14%
欧州	44	49	+5	+12%
中国	20	18	-2	-9%
その他市場	75	67	-8	-10%
合計	309	309	+1	0%
米国	95	102	+7	+7%
オーストラリア	25	25	0	-1%

2025年3月期 第1四半期 財務指標

(億円)	2024年3月期	2025年3月期	対前年増減	
	第1四半期	第1四半期	第1四半期	
連結出荷台数 (千台)	286	291	+6	+2%
売上高	10,910	12,056	+1,146	+11%
営業利益	300	504	+204	+68%
経常利益	639	803	+164	+26%
当期純利益	372	498	+126	+34%
売上高営業利益率	2.8 %	4.2 %	+1.4 pts	
EPS (円)	59.1	79.1	+20.0	
為替レート (円)				
USDドル	138	156	+18	
ユーロ	150	168	+18	
タイバーツ	3.99	4.25	+0.26	
メキシコペソ	7.79	9.06	+1.27	

2025年3月期 第1四半期 営業利益変動要因(対前年比較)

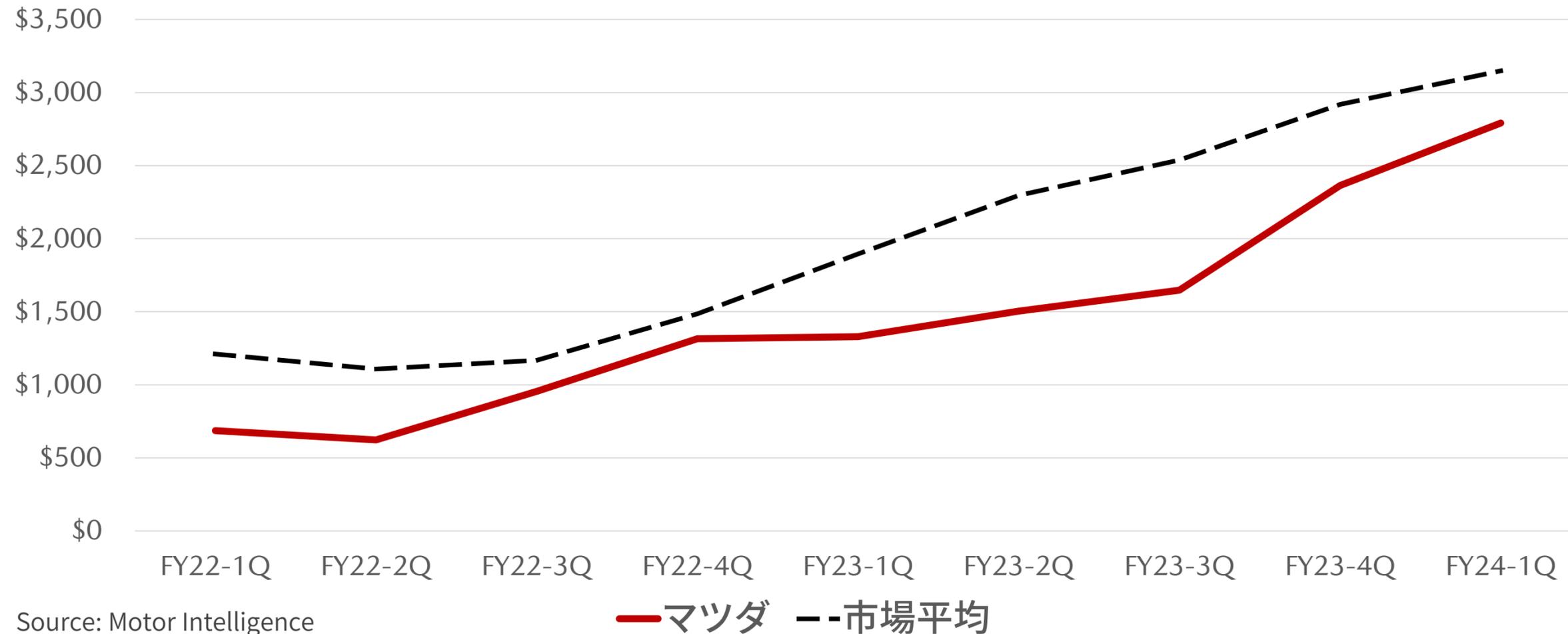


台数・構成	+33	為替	+439	原材料費・物流費等	-78	固定費他	+123
台数構成・価格	+75	USD	+144	原材料費	-54	研究開発費	-35
その他	-42	EUR	+100	物流費	-24	減価償却費	-15
		AUD	+60			品質関連費用	+110
		THB	-38			広告宣伝費	-11
		MXN	+23			その他	+74
		その他	+150				

米国販売奨励金トレンド

- トップライン成長に向け、市場のトレンドに応じて販売促進策を強化
- 新商品導入や商品力強化により、第2四半期をピークに販売奨励金を抑制

米国台当たり販売奨励金推移



2025年3月期 通期見通し

北米市場とラージ商品を梃にトップライン成長を実現 将来に向けた電動化・価値創造および経営効率化の取り組みを進捗

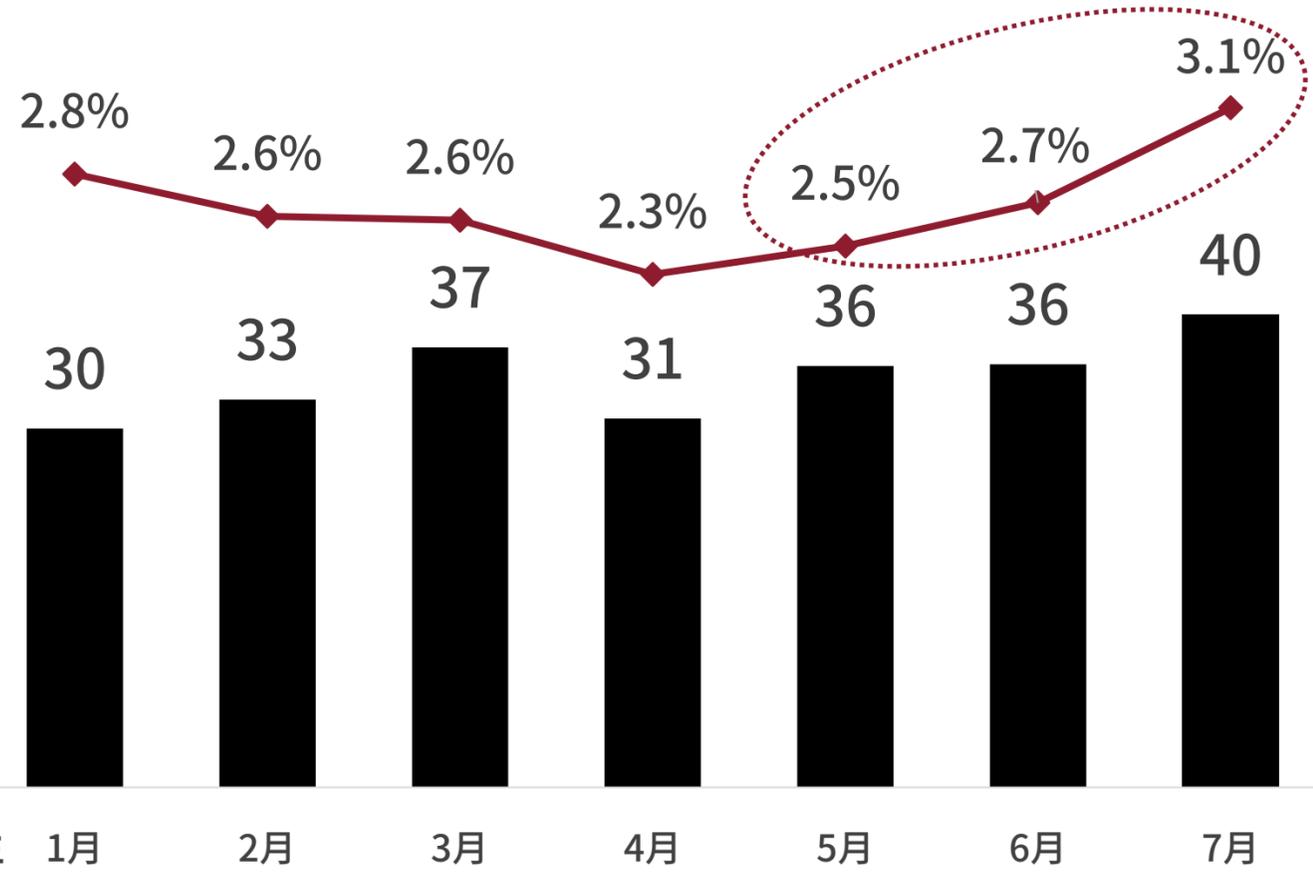
通期見通し

- グローバル販売台数および連結出荷台数の見通しは変更なし
 - 主要市場で競争環境の変化に機動的に対応
販売モメンタムを維持する事で新商品での台数成長を確実なものにする
- 利益見通しは5月公表を据え置き、為替前提を見直し
 - 販売奨励金は、新商品の導入や商品力強化により今後抑制
 - 収益力の改善に向け、お取引先様と一体で推進する原価低減活動を加速
将来成長のための電動化や人への投資以外の領域のコストを再精査

トップライン成長の取り組み進捗(米国の事例)

- 米国市場では第1四半期として過去最高のシェアを達成*
- 2024年7月のCX-90のセグメントシェアは過去最高*

米国販売台数・シェア



■販売台数(千台) ◆シェア

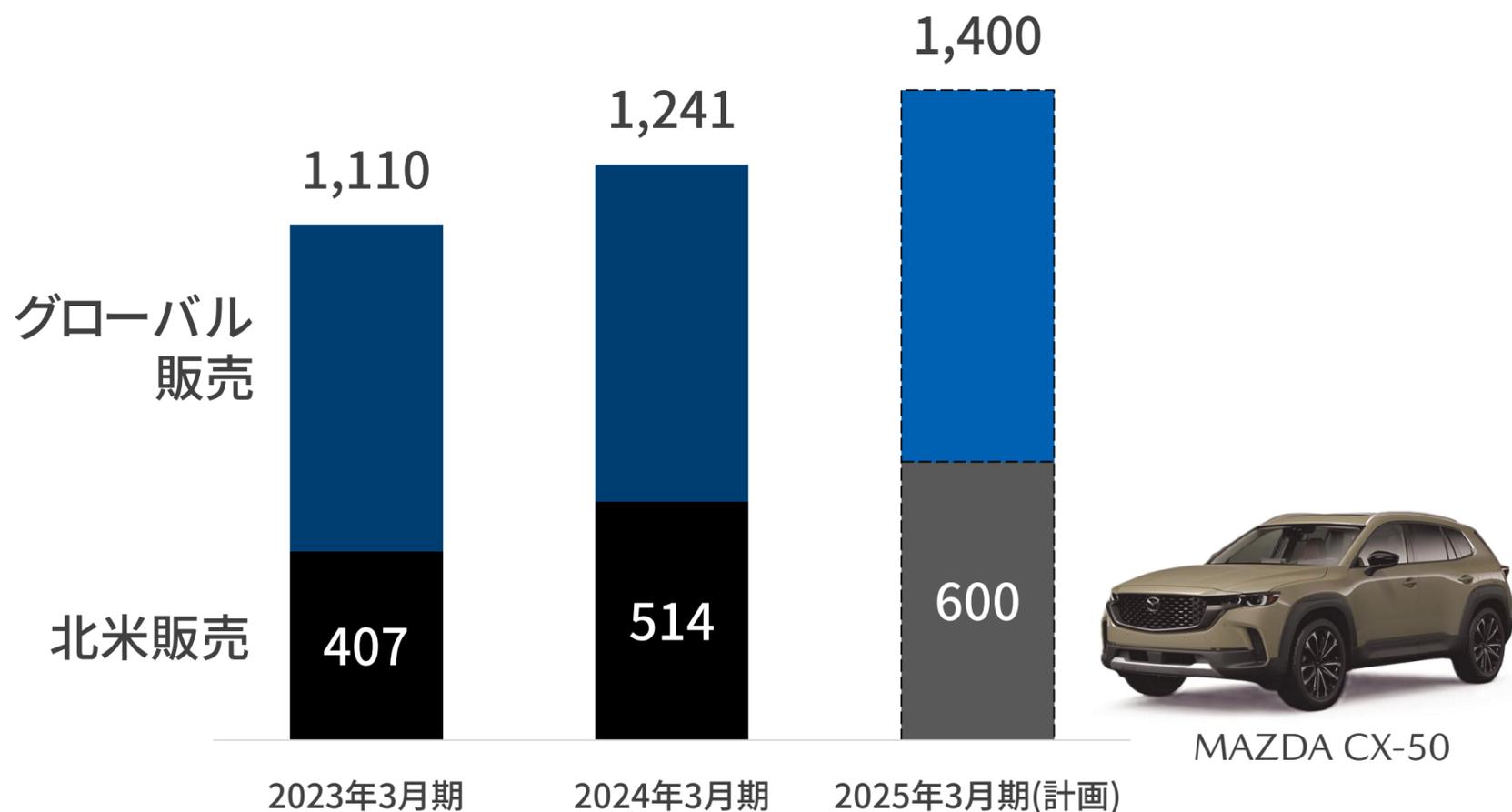


300店舗目の米国次世代店舗
(Luther Mazda, Kansas City)

トップライン成長の取り組み進捗

- 北米中心にグローバル販売は着実に成長
- 2024年後半に北米でCX-50ハイブリッドモデルの販売を開始
- 今期CX-70・CX-80を導入。ラージ商品4車種が出揃い、台数成長を牽引

(千台) 【グローバル・北米販売台数】



【ラージ商品グローバル販売台数】



電動化に向けた進捗

- カーボンニュートラル(CN)実現に向けたマルチソリューションの取り組みを
着実に進捗
 - ガソリンエンジン、ディーゼルエンジン、ロータリーエンジンと電動化デバイスを組合せ、多様な選択肢を提供
 - SUBARU・トヨタ自動車と、電動化に適合する新たなエンジン開発を三社三様で宣言
 - 中国市場では、BEV、PHEVを搭載した「MAZDA EZ-6」の量産前試作車をラインオフ。9月中に量産をスタートし、今年10月に導入予定



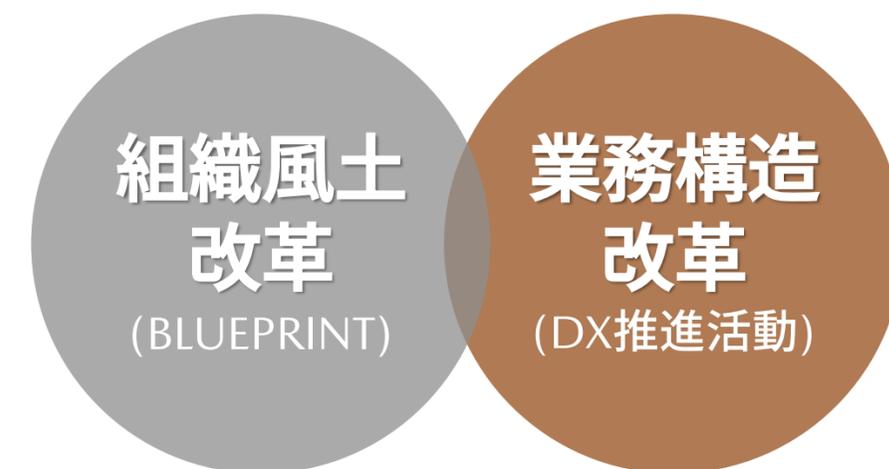
ROTARY-EV SYSTEM CONCEPT (2 ROTOR)



MAZDA EZ-6

人への投資とITとの共創による価値創造および経営効率化

- 従業員が価値創造業務に専念できる環境を整えるため、組織風土改革とDXによる業務構造改革を推進
 - 1万人超の間接従業員へ組織風土改革の取り組み「BLUEPRINT(ブループリント)」を実施完了。直接従業員向けにも今期実施予定
 - AI・ITを活用して業務を効率化し、価値創造にリソースをシフトするDX推進活動を全社で始動



組織風土改革と業務構造改革を両輪で推進



BLUEPRINTプログラムの様子

2025年3月期 通期 台数見通し

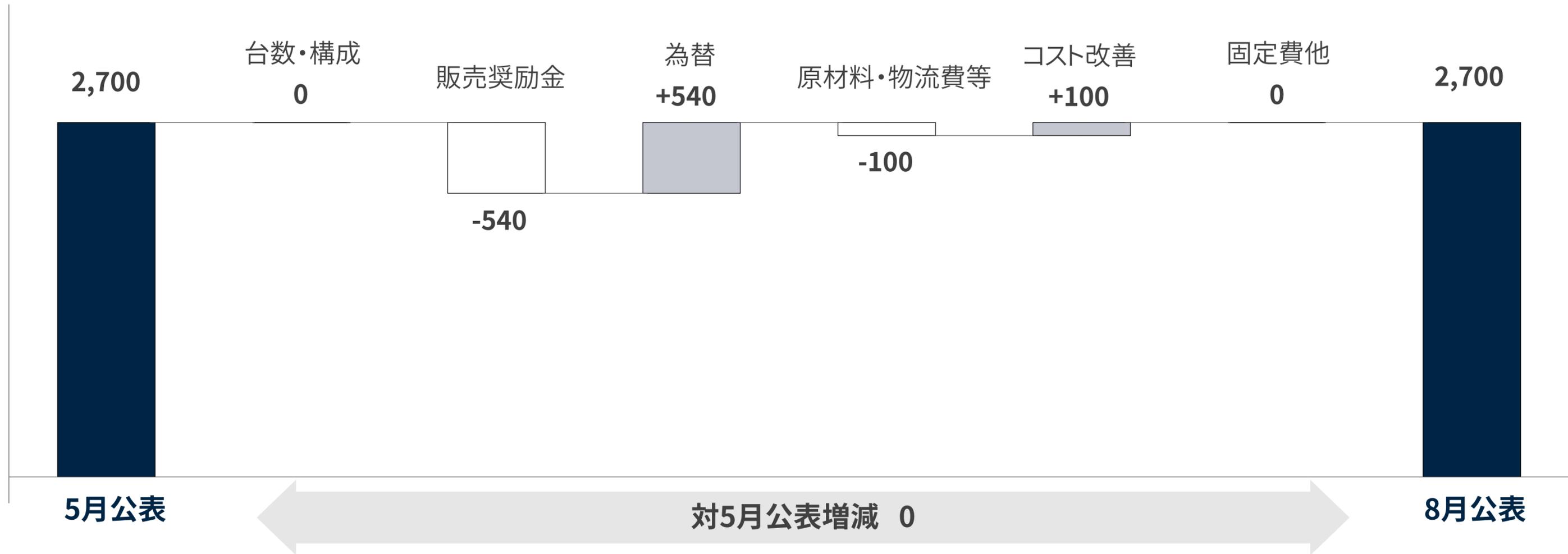
(千台)	2024年3月期	2025年3月期	対前年増減		対5月公表増減
	通期	通期	通期		通期
グローバル販売台数					
日本	160	180	+20	+13%	0
北米	514	600	+86	+17%	0
欧州	180	183	+3	+2%	0
中国	97	98	+1	+1%	0
その他市場	289	339	+50	+17%	0
合計	1,241	1,400	+159	+13%	0
米国	375	445	+70	+19%	0
オーストラリア	98	106	+7	+7%	0

2025年3月期 通期 財務指標

(億円)	2024年3月期	2025年3月期	対前年増減		対5月公表増減
	通期	通期	通期		通期
連結出荷台数 (千台)	1,202	1,300	+98	+8%	0
売上高	48,277	53,500	+5,223	+11%	0
営業利益	2,505	2,700	+195	+8%	0
経常利益	3,201	2,200	-1,001	-31%	0
当期純利益	2,077	1,500	-577	-28%	0
売上高営業利益率	5.2 %	5.0 %	-0.2 pts		0 pts
EPS (円)	329.6	238.0	-91.6		-0.1
為替レート (円)					
USDドル	145	150	+5		+7
ユーロ	157	162	+5		+7
タイバーツ	4.11	4.11	+0.01		+0.11
メキシコペソ	8.35	8.31	-0.04		-0.10

2025年3月期 営業利益変動要因(対5月公表比較)

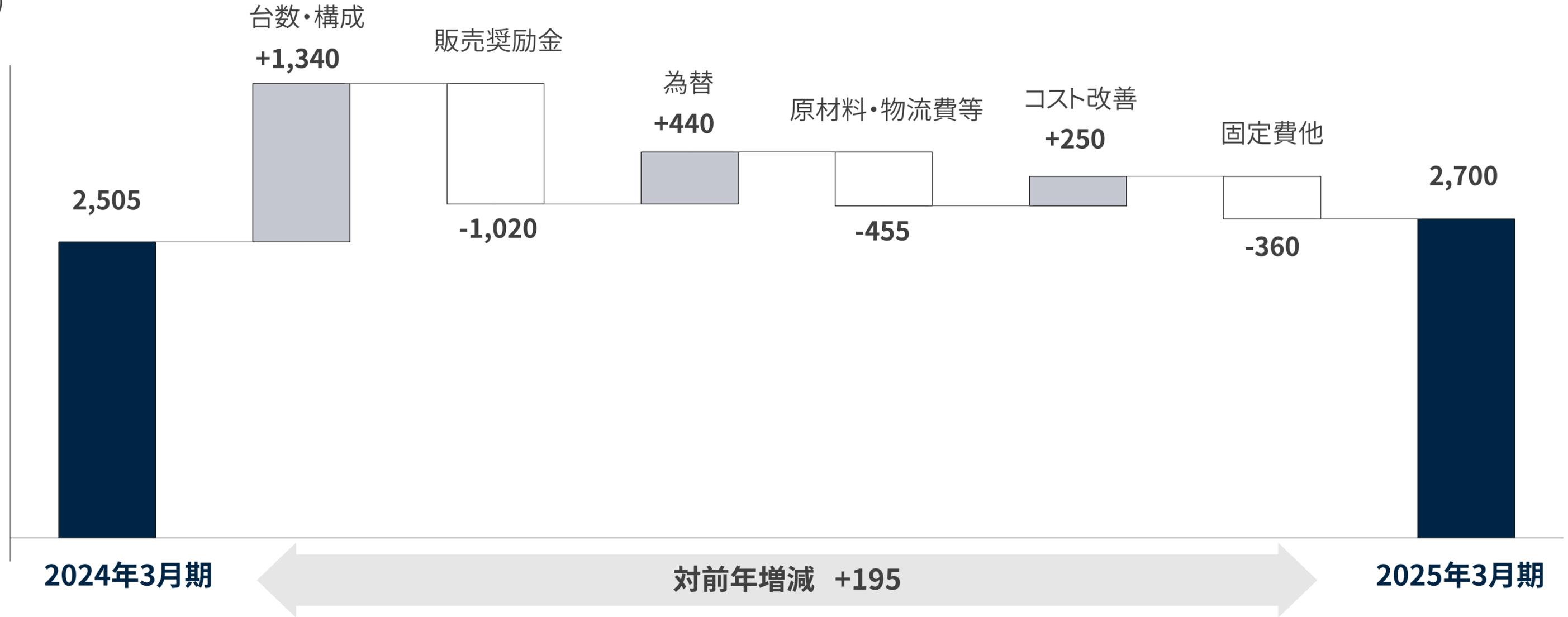
(億円)



台数構成	0	為替	+540	原材料費・物流費等	-100	固定費他	0
台数構成・価格	-	USD	+202	原材料費	-100	研究開発費	-
その他	-	EUR	+116	物流費	-	減価償却費	-
		AUD	+138			品質関連費用	-
		THB	-63			広告宣伝費	-
		MXN	-4			その他	-
		その他	+151				

2025年3月期 営業利益変動要因(対前年比較)

(億円)



台数構成	+1,340	為替	+440	原材料費・物流費等	-455	固定費他	-360
台数構成・価格	+1,035	USD	+121	原材料費	-444	研究開発費	-137
その他	+305	EUR	+100	物流費	-11	減価償却費	-17
		AUD	+84			品質関連費用	+66
		THB	-12			広告宣伝費	-48
		MXN	+14			その他	-224
		その他	+133				

まとめ

- ラージ商品の貢献などにより北米市場の販売好調が継続
- グローバル販売台数および連結出荷台数の見通しは変更なし
- 利益見通しは5月公表を据え置き、為替前提を見直し
- トップライン成長、将来に向けた電動化・価値創造および経営効率化の取り組みを着実に進捗



mazda

添付

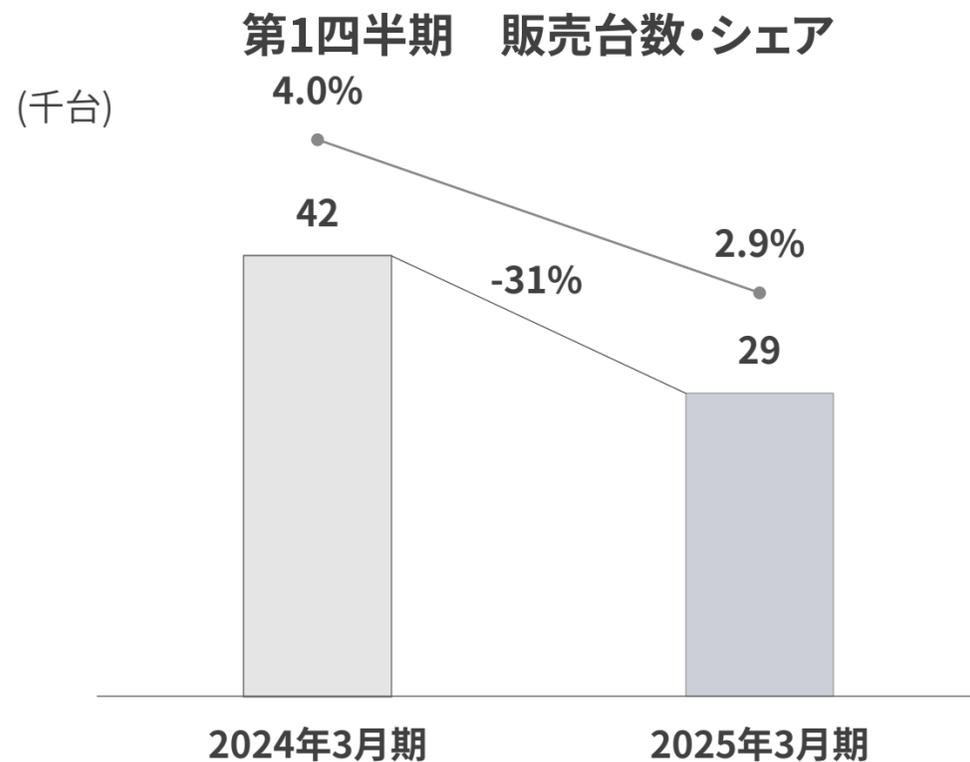
日本



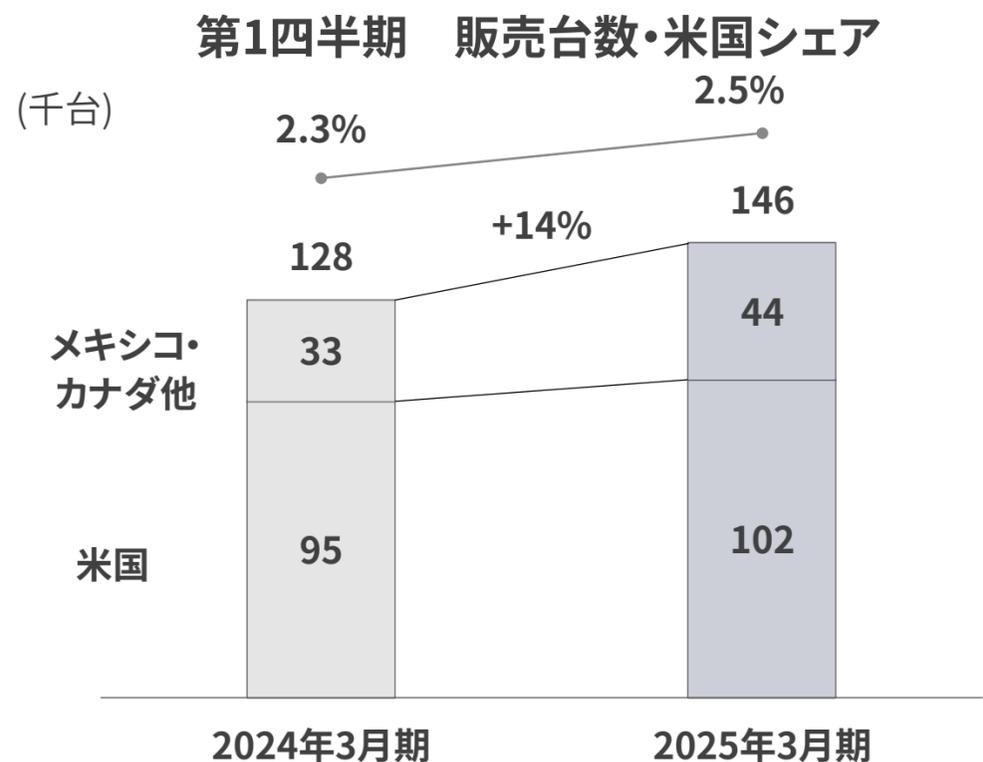
- 対前年31%減の2万9千台を販売
- 前期12月に生産終了したCX-8影響の他、CX-60の新車効果一巡などにより販売台数減少
- シェアは対前年1.1pts減の2.9%、登録車シェアは同1.8pts減の3.2%
- 今期、ラージ商品群第4弾となる新型3列シートSUV「MAZDA CX-80」を日本導入予定
- 通期販売見通しは対前年13%増の18万台



MAZDA CX-80 (欧州仕様)



北米

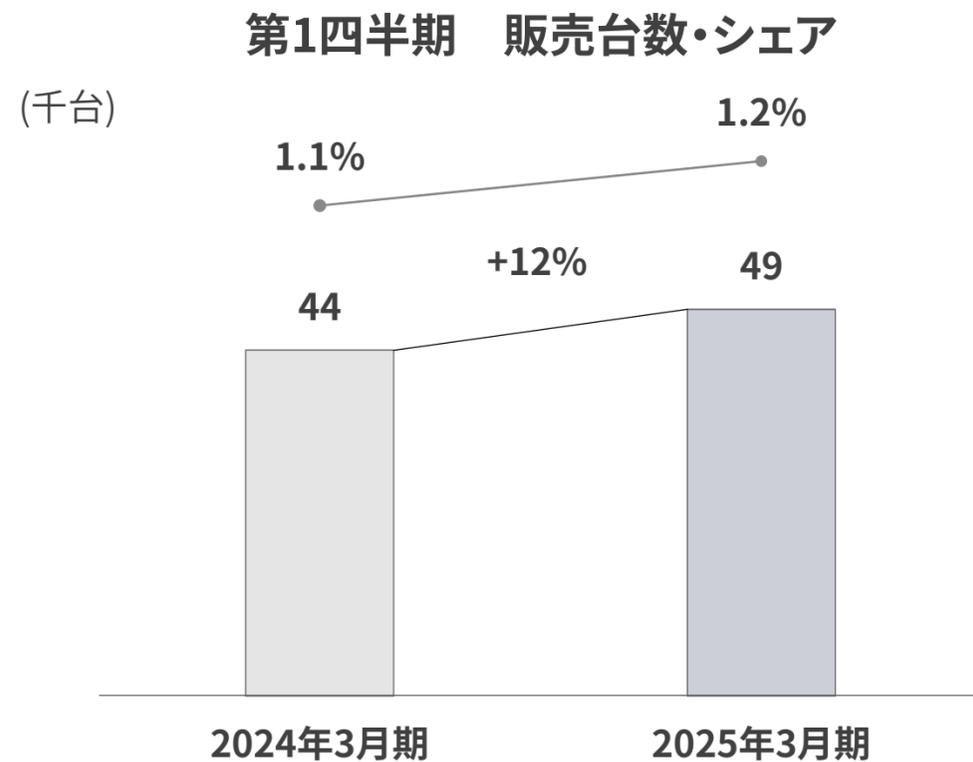


- 対前年14%増の14万6千台を販売。第1四半期として過去最高の販売台数を達成
- 通期販売見通しは対前年17%増の60万台
- 米国:
 - 対前年7%増の10万2千台を販売
シェアは対前年0.2pts増の2.5%
 - アラバマ工場の2直化によりCX-50の生産・販売台数が増加。ラージ商品のCX-90も販売増に貢献
- メキシコ:
 - 対前年59%増の2万4千台、シェアは6.8%
 - 6月は月販台数として過去最高を達成
- カナダ:
 - 対前年14%増の1万9千台

欧州



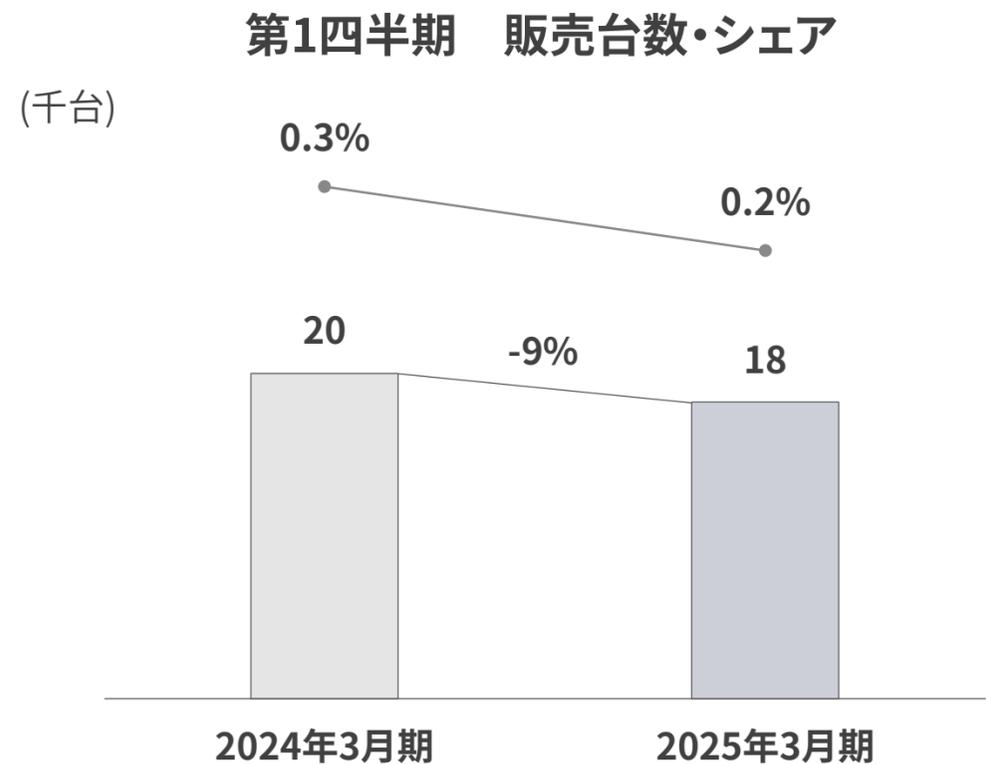
- 対前年12%増の4万9千台を販売
- シェアは前年同+0.1ptsの1.2%
- 堅調な販売継続により販売台数とシェアが改善
各国で販売強化策を投じ、CX-30・CX-5・MAZDA2
で販売台数増
- 通期販売見通しは対前年2%増の18万3千台
- 主要国の販売
 - ドイツ:対前年15%増の1万2千台
 - 英国:対前年11%減の7千台



中国



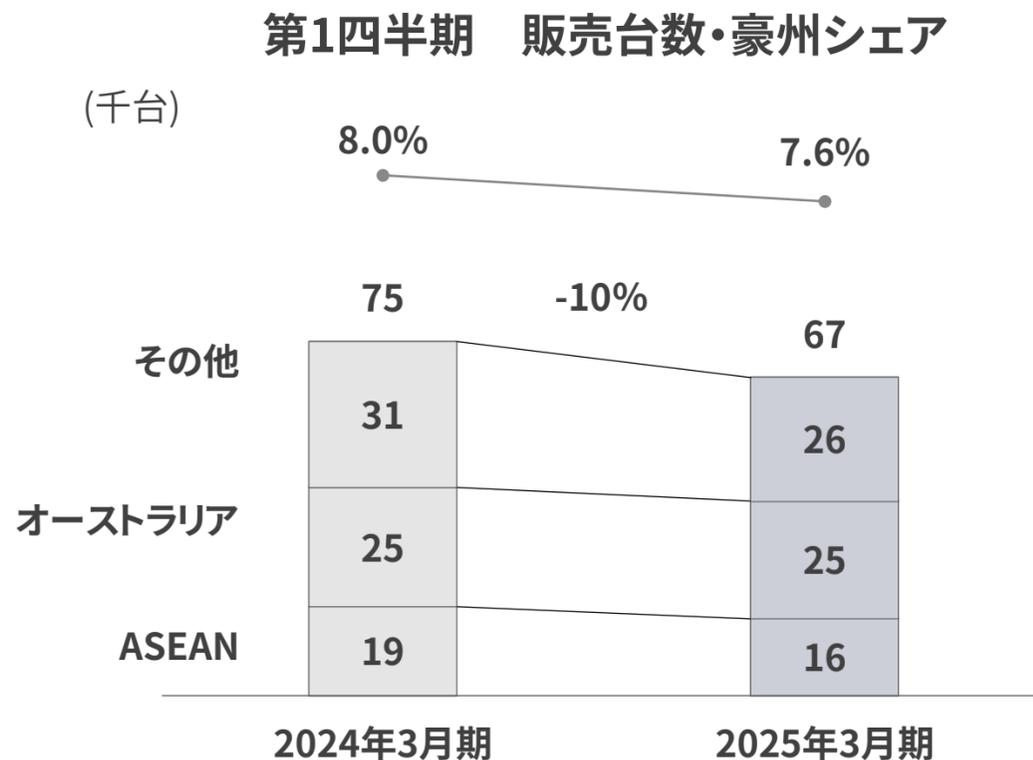
- 対前年9%減の1万8千台を販売
- シェアは対前年0.1pts減の0.2%
- 市場全体では新エネルギー車の需要が増加。内燃機関搭載車の競争激化により販売台数およびシェアが減少
- 2024年4月、北京モーターショーで電動専用モデル「MAZDA EZ-6」をワールドプレミア年内に発売予定
- 通期販売見通しは対前年1%増の9万8千台



その他市場



- 対前年10%減の6万7千台を販売
- 通期販売見通しは対前年17%増の33万9千台
- オーストラリア:
 - 対前年1%減の2万5千台を販売。
CX-5・CX-3・MX-5は堅調な販売を継続し
販売台数増加
 - シェアは対前年0.4pts減の7.6%
- ASEAN:
 - 対前年14%減の1万6千台を販売
 - タイ:対前年50%減の3千台
 - ベトナム:前年同16%増の7千台
 - マレーシア:対前年18%減の4千台



キャッシュ・フロー及びネット・キャッシュ

(億円)	2024年3月期	2025年3月期	対前期末増減
	通期	第1四半期	
営業キャッシュ・フロー	4,189	262	-
投資キャッシュ・フロー	-1,799	-202	-
フリー・キャッシュ・フロー	2,390	60	-
現金及び現金同等物	9,193	9,449	+256
有利子負債	5,678	5,789	+111
ネット・キャッシュ	3,515	3,660	+145
総資産	37,918	38,832	+914
自己資本	17,376	17,861	+485
自己資本比率	46 %	46 %	0 pts

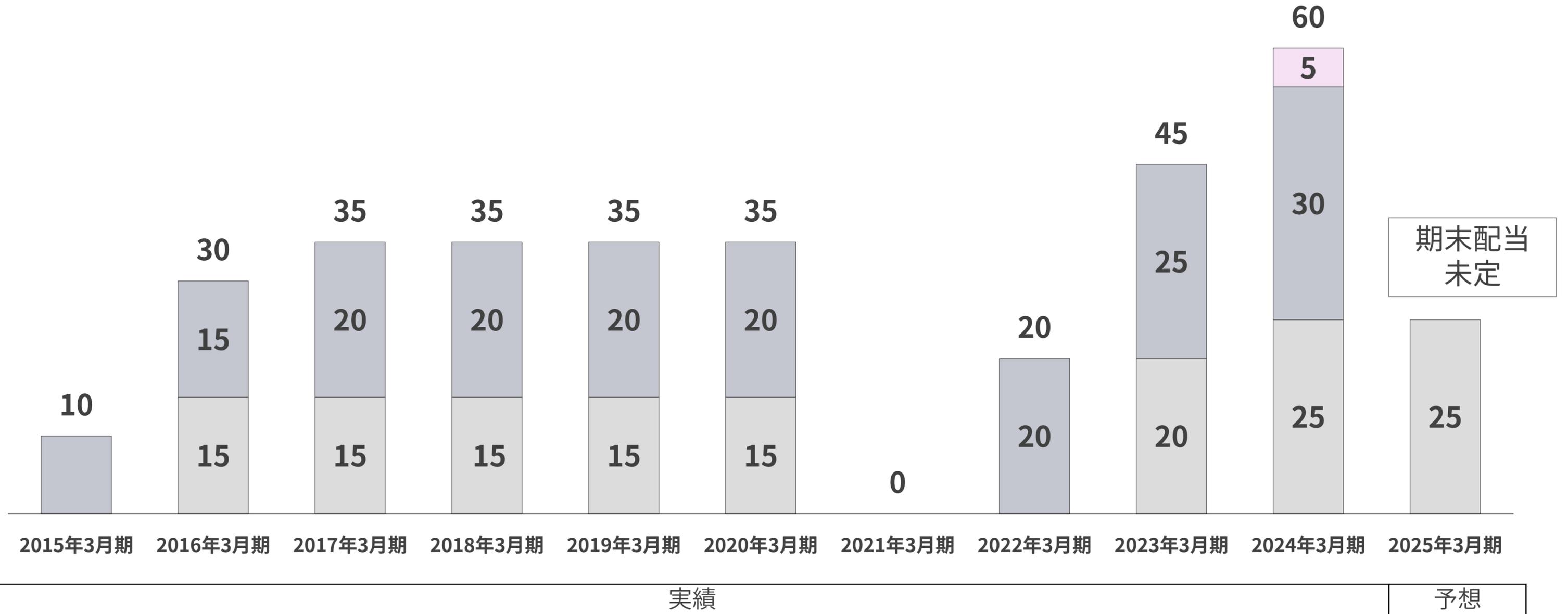
為替レート

(円)	2024年3月期	2025年3月期	対前年増減	対5月公表増減
	通期	通期	通期	通期
USDドル	145	150	+5	+7
ユーロ	157	162	+5	+7
カナダドル	107	109	+2	+3
オーストラリアドル	95	99	+4	+5
英ポンド	182	190	+8	+9
タイバーツ	4.11	4.11	+0.01	+0.11
メキシコペソ	8.35	8.31	-0.04	-0.10

配当について

1株当たり配当金 (円)

■ 中間 ■ 期末 ■ 特別



将来見通しに関する注意事項

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の見通し及び将来の戦略については、今後の世界経済情勢、業界の動向、為替変動のリスクなど様々な不確定要素が含まれております。従いまして、実際の当社業績は見通しと大きく異なる結果となる場合があることをあらかじめご了承ください。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。当プレゼンテーション資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。